

# 三鷹市立第一中学校 ( 社会 ) 科 授業改善推進プラン ( 分析 )

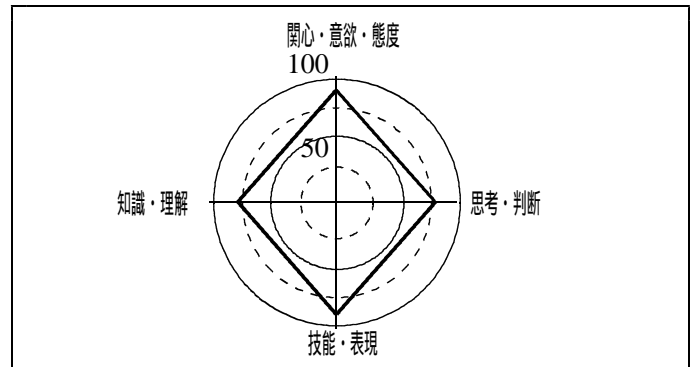
東京都教育委員会「児童・生徒の学力向上を図るための調査結果」  
三鷹市教育委員会の学習定着度調査の分析

の実施教科のみ

## 1 東京都教育委員会の実施した「児童・生徒の学力向上を図るための調査結果」の分析

| 内容別結果の分析   | 観点別結果の分析   | 内容・観点のクロス分析                                    |
|--|--|--|
| 地理的分野は約5.2ポイント、歴史的分野は7.8ポイント、都の平均を上回っており、おおむね満足できる状況にあるといえる。 | 【技能・表現】の観点は都平均を8ポイント以上上回っており満足できる状況といえるであろう。しかし、【関心・意欲・態度】については、都の平均を1.8ポイント上回っているにとどまり、課題があるといえる。 | 地理、歴史とも観点別の状況に差異は見られない。歴史的分野における【知識・理解】の数値が高い。 |

|          | 観点別平均正答率 |
|----------|----------|
| 関心・意欲・態度 | 93.0%    |
| 思考・判断力   | 75.1%    |
| 技能・表現    | 83.9%    |
| 知識・理解    | 77.4%    |



## 2 三鷹市教育委員会の学習定着度調査の分析

|       | データからみた特徴   | 分析内容   |
|-------|---|--|
| 通過率   | 全体的に通過率が高いが、日本の歴史の中で、鎌倉時代と刀狩りの目的に関する設問への通過率がマイナスである。    | ポイントの比較的低い項目の多くは基礎問題で知識・理解を問う設問であるので、基礎・知識が定着していないことが考えられる。全体としては平均を上回っている |
| 到達度   | 80%以上の10%ごとの分布においていずれも市の分布図を上回っている。良好な分布状況であると考えている。    | 到達度分布では、市の傾向と類似しており60%の線に大きな境目があり、60未満の分布は、極端に減っておりこのレベルの生徒の学力向上が課題と考えられる。 |
| 平均到達度 | 約4ポイント市の平均を上回っている。基礎に比べ応用が到達度が高い。観点については、思考・判断のポイントが高い。 | 内容別でも観点別でもおおむね満足できる状況であると考えられる。知識・理解が高くないことについて今後の課題として定着をはかっていきたい。        |
| 達成率   | 教科全体で8ポイント以上市の平均を上回っている。観点別・領域別についてもいずれも市の平均を上回っている。    | 思考・判断では70%に満たないため、この観点での学力向上が今後の課題と考えられる。                                  |

## 三鷹市立第一中学校（社会）科 授業改善推進プラン

### 3 指導方法の課題分析と具体的な授業改善策及び補充指導等の計画

|      | 指導方法の課題分析  | 具体的な授業改善策  | 補充・発展指導計画   |
|------|--|--|---|
| 第1学年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地理や歴史的事象全般について、関心・意欲を喚起するための指導の工夫、特に教材や教材の提示の工夫が必要である。</li> <li>・基礎的・基本的事項の定着をめざした工夫が必要である。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・三鷹市や東京都など身近な地域を題材にするなど、話し合い活動や調べ学習などの機会を増やす。その際、学校図書館を有効に活用する。</li> <li>・都道府県名や基本的な歴史用語の小テストを実施し、基礎・基本の確認を図る。</li> </ul>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・調べ学習やレポート作成を行ったり、レポートの発表会により、思考の深化を図るとともに、技能表現の力を身につける</li> <li>・ワークテキストの繰り返しの学習により基礎的基本的な学力の定着を図る</li> </ul> |
| 第2学年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>（地理）資料活用や思考・判断等の能力を高めるための指導の工夫が必要。</li> <li>（歴史）基礎知識の定着と共に、その上で、なぜか？どうしてか？という思考的な学習(発展)を取り入れる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料などを多角的に考察する場面を設定し、思考判断の能力を高める。その際、ワークシートを効果的に活用する。</li> <li>・生徒が興味・関心を持って取り組めるような課題の設定，多面的な資料の提示を心掛ける。</li> </ul>              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・既習事項の知識の確認のために、広い範囲での確認テストを実施する。</li> <li>・選択社会では“基礎を固める1・2年生の復習”のテキストを使い基礎的基本的な事項の定着を図る</li> </ul>           |
| 第3学年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・全般的に政治や経済のしぐみに馴染みがなく、基礎的な事項に対する理解が不足している。現代の社会的事象への関心を高める指導の工夫が必要である。</li> </ul>                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・重要事項についての十分な指導時間を確保する。</li> <li>・生徒が興味を持てるよう身近な内容から教材をつくる。</li> <li>・社会事象への関心を高めることができるように、時事問題や身近な出来事と結びつけた学習題材を工夫する</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・テスト前に重要事項の再確認ができるような問題演習を行い基礎の定着を図る。</li> <li>・選択社会では、3年間の総まとめ的問題集を使い既習事項の知識の整理、定着を図る。</li> </ul>             |